

令和6年度 こども園における自己評価

八尾市立安中ひかりこども園

4: 十分達成している 3: ほぼ達成している 2: 検討を要する 1: 改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・目標について前年度の反省を丁寧に見直し、実態に応じて設定し、全職員で共通理解をしている。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・指導計画は、子どもの実態に応じて年間計画を立案し、月、週案はその都度ねらいに沿って作成して子どもの成長に繋がるようにした。 ・子どもの主体性を重視し、要求や思いをすぐに実現できるよう、環境を整えたり教材を準備したりした。 ・クラスや学年、また園全体で子どもの姿について話し合う機会を多く持ち、その都度必要な手立てや環境構成は何かを検討しながら援助・支援を行った。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・野菜の皮むき等食材に触れる機会や菜園活動、また栄養士による食育指導を行い、食に興味関心をもてるようにしている。 ・毎月調理員、栄養士、看護師、保育教諭でアレルギー会議を行い、個別の対応について丁寧に確認を行っている。 ・計画的に保健指導や避難訓練、防犯訓練を行い、子どもたちが安全や衛生について意識を高める取り組みを行っている。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	・体制を調整し、職員の希望する研修に参加できるようにした。また、参加した職員が報告する機会を設け、学んだことを園全体で共有できるようにしている。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員間の 運営管理について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・定期的な会議や打ち合わせの中で、それぞれの役割からの報告や課題について話し合いを行い、決定事項について職員間で情報共有をしている。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務 の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	・個人情報の取り扱いは、職員間で意識して声を掛け合い、適切に対応して取り扱っている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・コーディネーターが窓口になり、計画的に近隣の施設や小学校と交流、行事への参加を行い、子どもたちの豊かな経験に繋がった。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・就学前の親子向けにひろばや園庭開放を実施し、楽しく親子で触れ合い遊びを楽しんだり育児相談をしたりして子育て支援を行っている。また、一時預かり保育では子どもの成長や育児不安解消に繋がるよう努めている。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	保護者には定期的にたよりを発行したり、ホームページで園外の市民に発信したりすることで園運営について理解してもらうよう努めている。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・、保護者アンケートを実施したり、第三者委員の意見を反映し、園運営に活かしている。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・毎月園内外の安全点検を実施し、子どもや職員が安全に過ごせるようにしている。 ・火災、地震、防犯訓練の年間計画を立案し、毎月訓練を行うことで避難の仕方を身につけ、もしもの時に備えて迅速に避難できるようにしている。 ・保護者に掲示物が見やすいように掲示の仕方を工夫し、情報発信を行っている。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	・マニュアルにのっとり、適切に処理をしている。	

成果

○今年度の研究テーマを『かけがえのない一人ひとりを大切に』～つなげよう つながろう ひかりのわ～として子ども、保護者、職員のつながりを大切にし、保育の質と職員の意識向上に向けて全職員で取り組んだ。園内研究、事例研究、研究に向けての検討会議を行う中で子どもの思いと職員の願いの相違を確認し、子どもを中心としたより良い保育に向けての討議を重ね、保育の質の向上を図った。

○人権について学びを深めるために人権擁護のチェックシートを活用して振り返りを行い、学習会の中では不適切保育について全職員でグループワークで話し合い、適切な保育について意識づけを行った。子どもの内面の理解を深め、職員の実践の向上に繋がってきている。

○食育コーナーの掲示物の位置やレイアウトを変更したことにより保護者の方が興味を示すようになった。立ち止まって掲示物を見たり給食献立レシピを手に取ったりする姿が増えた。

○未就園児の親子向けの地域交流や一時預かり保育の子育て支援事業には多くの親子が来園した。リピーターが増えて担当者と信頼関係ができ、保護者と子どもの成長を確認したり園の施設見学に繋げて就園の不安を緩和したりするなど支援に繋がったと感じる。

課題

保護者アンケートより

○懇談会の充実に課題があることがわかった。保護者が園運営について理解を深める大切な機会と捉え、内容を工夫しながら丁寧に進めていき、保護者が意欲的に参加し、有意義な時間にしていく必要がある。

○安全面について強化する必要性の指摘を受け、施錠や来園者の確認の徹底をを行い、職員全員が危機管理の意識を高め、子ども、保護者が安心して通園できるように努めていく必要がある。

改善策

○・懇談会の内容について保育者が子どもの姿や伝達事項の共有、保護者のコミュニティや子育て支援の場にするなどその都度ねらいをもって実施する。また参加した保護者が有意義な時間を過ごし、また来たいと思っていただけるような内容の工夫をする。

・全職員で登降園時や来園者が来た時の門の開閉など園全体の施錠状況や不審者への対応の仕方など状況ごとに丁寧に確認し、安全確保に向けて危機管理意識を高める取り組みを行う。